

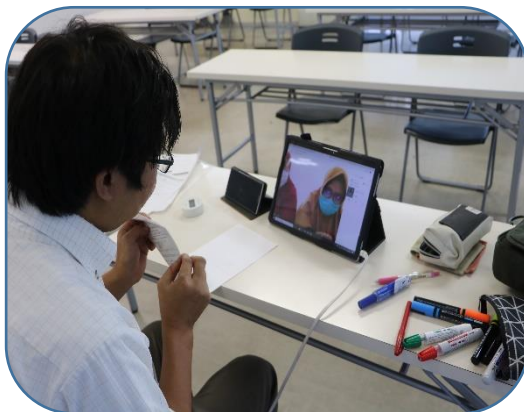


実習生寮に滞在中の元ベトナム人実習生愛用の水タバコ。ペットボトルに取り付けられた金具にタバコの葉を詰めて、煙を吸い込みます。

残暑お見舞い申し上げます。全国的に、連日猛暑が続いています。実習現場が屋外の技能実習生の皆さんを思うと心配でなりません。こまめな給水と塩分補給等の、熱中症対策に取り組んでいてくれることを願うばかりです。日本の学校は、8月に入り、全国的に少し遅めの夏休みに入りました。これまでは、夏休みとは無縁だった当校も、「今は夏休み？」と思ってしまうほど、静まりかえっています。ベトナムやタイ等数ヶ国に対する入国緩和措置が動き始めていますが、実際に実習生の皆さんが入国できるまでには、もうしばらく時間が掛かるようです。「あじけん」の夏休みはいつ終わるのだろう？と、正直不安が先行してしまいましたが、スタッフ・講師一同、近い将来の授業の再開を信じて、新型コロナウイルス感染症との共存を前提とした授業の準備に取り組んでいるところです。

あじけんスコープ Vol.88 ～リモート授業実施中～

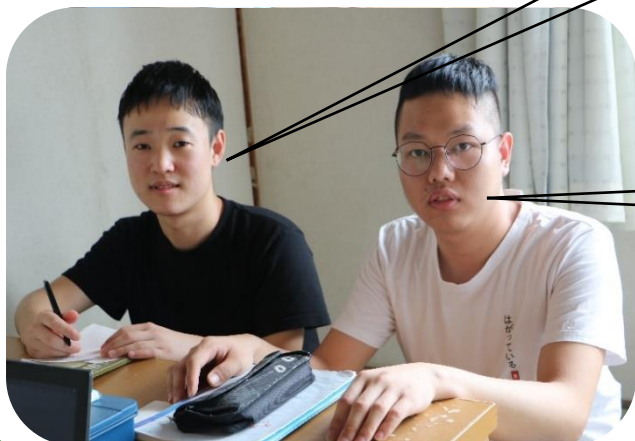
EPA 介護福祉士候補生への日本語講座において、リモート授業が行われています。これまでは施設のある県外に講師派遣をしていましたが、コロナ禍での利用者の皆様の健康を最優先した結果、8月からはビデオ会議アプリ Google Meet（グーグルミート）を活用し、小山の教室と県外施設間とのリモート授業を行っています。



タブレット端末を使ったリモート授業の様子

今月の実習生番外編

今月は、帰国困難の為、一時的に研修センターに滞在し、帰国のチャンスを待ちながら、帰国後を見据えて、待機中、毎日、寮で日本語の自習に取り組んでいる前途有望な中国人青年、写真向かって左から、李国豪（リ コクゴウ）さんと柏如齊（ハク ジョサイ）さんの2人をご紹介します。因みに新型コロナウイルスを中国語で書くと「新冠病毒」。2人が教えてくれました。ウイルスの形状からきているようです。



私は李です。コロナウイルスの影響で、帰国できなくなり、今は研修センターで毎日日本語を勉強しています。勉強する時間が十分あります。8月に無事に帰国できることを願っています。ウイルスも早く去ってほしいです。中国に帰たら、大学院に行くと、日本語を勉強するつもりです。

柏と申します。中国から来ました。この期間の実習はとても勉強になりました。同僚たちとも仲良く過ごしました。ところが、新型コロナウイルスの影響で中国に帰れなくなってしまいました。今は研修センターで日本語の勉強を続けています。故郷が恋しいです。現在の願いは無事に中国に帰ることです。

あじけん流日本語授業

～実習生向け JLPT 対策教材～

今回のあじけん流日本語授業は、教務課主任栗又が、実習生向け日本語教材を紹介いたします。JLPT とは、日本語能力試験のことです。日本語を母語としない人が、自分の日本語の実力を判定するものとして、世界中で受験されています。実習生の中にもこの試験の「N3」や「N2」を目指して日本語の勉強を頑張っている人もたくさんいるでしょう。今月は、その JLPT 対策教材について、教材を選ぶ時のポイントをお伝えしたいと思います。ぜひ実習生に下記の内容をお伝えください。

まず、考えることは、今、「自分がどんな勉強をしたいのか、できるのか」です。日本語の聞き取りが難しいな、漢字が苦手だな、読解問題はできるだろうか、また、勉強する時間がどのくらいあるか、すでに持っているテキストはどんなものか、インターネットなどの環境があるかなど、自分の「日本語の勉強」について内容、環境を分析します。そこから、「これを勉強したいな」「できるだけ短い時間で勉強したいな」などを考えていきます。

分析が出来たら、次は教材選びです。教材には大きく分けて、2つのタイプがあります。

- ① 試験の内容を「漢字」「文法」「読解」「聴解」など分けて勉強するもの
 - ② 総合試験問題（すべての分野が1冊にまとまっているもの、模擬試験形式になっているもの）
- ①のテキストは、1冊で「漢字」だったり「文法」を勉強する形になっています。ですので、全部網羅するには、全種類の本をそろえなければなりません。しかし、自分の分析ができていれば、「漢字と読解の本を買おう」と選ぶことができます。詳しく解説もあり、本によっては翻訳がついているものもあります。また、練習をたくさんできるよう、解説は少なく、問題が多く掲載されている本もあります（文法の問題だけを扱っているなど）。実際にいろいろな本をよく見比べてみるといいと思います。
- ②のテキストは、模擬試験の形になっており、マークシートの練習もできるようになっています。試験の直前や、自分の苦手分野が分からないときなどに使ってみるといいと思います。ただ、1度使用してしまうと2回目は復習教材となってしまいます。解説はありますが、翻訳がついているものは少ないです。その他、全ての分野を1冊にまとめた「総合」テキストもあります。

おおまかな教材の説明でしたが、参考になれば幸いです。技能実習と日本語学習の両立は大変かと思いますが、実習中のみなさんの日本語学習も、当校講師一同応援いたしております。

① 教材の例（例：アスク出版）

- ・日本語能力試験対策日本語総まとめ N1「漢字」「語彙」「文法」「読解」「聴解」
- ・TRY! 日本語能力試験 文法から伸ばす日本語
（・日本語能力試験 模試と対策 →②のテキストです）

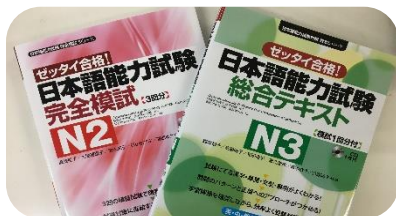
いろいろな出版社から様々な分野に分けて出版されています。



②教材の例

- ・ゼットイ合格！日本語能力試験完全模試 N2（Jリサーチ出版）
- ・ゼットイ合格！日本語能力試験総合テキスト N3（〃）

模試がついていたり、全ての分野が1冊にまとまっていたりします。



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。